

## はじめに

町田市は、2011年3月に「町田市の博物館等の新たな在り方構想検討結果報告書」をまとめ、市内の博物館機能を有する文化施設等全体の在り方について整理を行いました。そして、2012年3月には、「新しい博物館の基本構想」を策定し、町田市立博物館が持つ日本最大級のガラス・陶磁器のコレクションを活用して、「(仮称)町田市立国際工芸美術館(以下、国際工芸美術館)」を整備するという方向性を決めました。

以上の検討経過を踏まえ、市は2013年4月に工芸史、文化財保存環境学、建築など各分野の学識経験者8名による「(仮称)町田市立国際工芸美術館整備基本計画検討委員会」(以下、検討委員会)を設置し、国際工芸美術館の建設に向けた検討を行いました。また、検討委員会と並行しながら市民説明会、ガラス工芸の制作体験を行うワークショップを実施しました。

本基本計画は、検討委員会が作成した「(仮称)町田市立国際工芸美術館整備基本計画(案)」をもとに、国際工芸美術館の施設整備や事業運営を進めていくにあたっての基本的な考え方をまとめたものです。